



中高校生向け産業探訪シリーズ

“持続可能な未来とエネルギー：天然ガスが鍵を握るワケ”

@新潟県立新潟高等学校

天然ガスは、他の化石燃料と比べて二酸化炭素の排出量が少なく産出国が一極に集中していないこともあって、我が国にとって貴重なエネルギー資源です。国内で産出される天然ガスは主に新潟県などで採掘されていますが、旺盛な需要に対応するため、大宗は海外から輸入される液化天然ガス(LNG)によって賄われています。「INPEXは何してる？」というTVコマーシャルが流れています。このセミナーによって、天然ガスのサプライチェーンを理解していただくとともに、エネルギーS+3Eの基本方針及び経済安全保障の概念を学び、国際的な視野を身につけてください。

- 開会挨拶 PLIJ代表者
- 司 会 新潟県立新潟高等学校生徒

講演 13:30~14:20

<基調講演>

「世界・日本のエネルギー情勢とINPEXの取組み」

北村 俊昭 INPEX 相談役 (30分)

<講演>

「脱炭素政策・地政学の最新情勢を踏まえた天然ガスの役割」

宮本 直人 三菱商事 エネルギー&パワーソリューショングループCEOオフィス
インテリジェンスユニットマネージャー (20分)

中継 14:25~14:55

<中継①> 14:25~14:40

「イクシスLNGプロジェクト(オーストラリア)」

木戸川 亮祐 INPEX豪州 油層エンジニア(パース事務所)

中川 芙美子 INPEX豪州 プロセスエンジニア(ダーウィン事務所)

<中継②> 14:40~14:55

「直江津LNG基地」

佐藤 順哉 基地操業グループ 当直リーダー(直江津LNG基地)

質疑 14:55~15:15

- ファシリテーター 中西 淳二 PLIJ理事
- 閉会挨拶 新潟県立新潟高等学校教員代表



2026

5/26 火

13:25~15:15

お申し込み方法

QRコード、または以下リンクから、お申込みください。
参加費無料です。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_E6Hf0TFpSHu3B-aJgIHLWg



※録画(スクリーンショットを含む)・録音や二次利用は固くお断りいたします。

問合せ先: 一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム
事務局: info@plij.or.jp

今回のセミナーの会場参加者は新潟県立新潟高等学校の生徒さんになります。
他校の生徒さん教員はZoomウェビナーでご視聴ください。

主催 一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)

協力 新潟県立新潟高等学校



プロフィール

INPEX 北村 俊昭

1972年通商産業省(現経済産業省)入省。国際通商政策や国際経済協力分野における政策立案、数多くの国際交渉に携わった。2006年に経済産業審議官に就任。経済産業省退官後、2010年現(株)INPEXの代表取締役社長に就任し、豪州、インドネシア、アブダビなどのプロジェクトを主導。2018年代表取締役会長、2024年3月より相談役(現職)。日豪経済委員会副委員長、日本インドネシア協会副会長なども務め、二国間関係の発展や国際友好親善に携わる。

三菱商事 宮本 直人

1991年三菱商事エネルギー部門入社。一貫して天然ガス関連プロジェクトに関わる。主な担当案件は、マレーシアLNGプロジェクト、グローバルLNGマーケティング、アメリカキャメロンLNGプロジェクト、サハリン2プロジェクト。最近では2022年から25年迄オランダ三菱商事社長を務め、ヨーロッパにおける水素サプライチェーン事業開発に取り組んだ。2025年4月より現職。エネルギー事業の経営戦略策定、経営判断に資するインテリジェンスの発信を担当中。

株式会社INPEX

INPEXは、日本最大の石油・天然ガスの探鉱・生産(E&P)会社であり、日本・オーストラリア・アブダビ・インドネシアなど、世界各地で石油・ガスプロジェクトの開発および操業を行っています。同社は、エネルギーを持続可能な形で供給することにより、より明るい未来の実現に貢献することを使命としています。その取り組みの一環として、ネットゼロへの移行過程において重要なエネルギー源である天然ガス/LNGに加え、CCS(CO₂回収・貯留)や水素といった低炭素ソリューションにも取り組んでいます。世界中でネットゼロに向けたエネルギー移行が進む中、当社はより低炭素なエネルギーの安定的な供給と、持続可能で地球環境に配慮した「責任あるエネルギー・トランジション」を目指して参ります。

三菱商事株式会社

天然ガス(LNG)は、「低炭素」と「安定供給」を両立させる現実的なエネルギーとして引き続き重要な役割を担っています。三菱商事は1969年日本初のLNG輸入となったアラスカLNGプロジェクトに始まり、アジアのエネルギー確保要請に応じて多くのLNGプロジェクト立ち上げに携わって参りました。近年では、2019年に米国シェールガス革命を背景とした米国キャメロンLNGプロジェクトを立ち上げ、上流開発から液化、輸送、そして最終販売までを一貫して担うモデルを更に発展させました。最近では2025年にLNGカナダプロジェクトの生産開始を達成、2026年1月には米国の上流企業エーソン社を買収し上流ポジションを大きく強化しました。今後も、50年以上にわたる天然ガス・LNG事業の経験を活かしてエネルギー安定供給への貢献を継続して参ります。

イクシスLNGプロジェクト

日本企業初の大型LNGプロジェクトの操業主体(Operator)として事業を実施しており、日本のLNG輸入量の1割強の生産能力(930万トン)を有しています。ガス田(オーストラリア北西沖合)は2000年に発見され、その後の評価・開発作業を経て、2018年7月生産開始されました。その間、天然ガス生産・処理の洋上プラント、海底パイプライン、陸上の天然ガス液化プラント、LNG等の出荷施設を世界各国の事業者の協力を得て完成させました。生産するLNGの約7割が日本の電力・ガス会社向けに販売されており、日本のエネルギー安定供給の一躍を担っています。今後も安全・安定生産を続け、エネルギーの安定供給に努めていきます。

直江津LNG基地

イクシスのLNGプロジェクトの開発と並行して、直江津にLNG基地の建設を行い2013年から操業を開始しました。同基地では、イクシスプロジェクトなど海外から受け入れたLNGを気化し、南長岡ガス田で生産した国産天然ガスと合わせて熱量調整したのちに、需要家の元へ送り出しています。首都圏及びパイプライン沿線沿いのガス会社へ供給する東京ラインと富山での需要に対応する富山ラインのパイプラインネットワークの起点となっています。新潟県長岡の南長岡ガス田は、国内生産量、埋蔵量共に国内最大の拠点です。引き続き安定操業を目指して参ります。

新潟県立新潟高等学校

本校は新潟県最初の県立中学校として明治25(1892)年に開校した伝統校です。いかなる時代にあっても、より良き社会、将来を目指して理想に燃え真理を求める生徒を育て、数多の有為な人材を輩出してきました。平成7(1995)年度から普通科に加えて理数科が設置され、現在はスクール・ミッションを「豊かな人間性と高い志を持って、社会の発展に貢献できるリーダーを育成する学校」と掲げています。新潟県内各地から俊英が集まり、この伝統を継承するとともに、授業、学校行事、部活動等をとおして、何事にも果敢に挑戦し、次代を創造するよう、日々、切磋琢磨し、互いに高め合っています。理数科の生徒は2年次からサイエンスコースまたはメディカルコースのいずれかを選択し、多数開催される医学講演会、科学講演会等をとおして最前線で活躍されている方々の講演に学び、興味関心を高め、各分野の理解を深めて主体的に自らの学びの幅を広げています。グローバル人材育成や探究学習にも力を入れ、最難関大学や医学部医学科、また理系の学部への進学希望者が多く、卒業後は幅広い分野で活躍しています。